

様式 1

県立 I T 未来高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

- (1) 情報活用能力や社会の諸問題を分析・解決できる能力を培うことをとおして、デジタル社会を支える I T 人財を育成する学校
- (2) 生徒一人ひとりの多様な価値観や学習形態へのニーズに対応し、興味・関心に応じた進路を実現する学校
- (3) 社会革新するアイデアを創り出し、起業家精神を兼ね備えた、次世代の I T 人財とリーダーとして成長できる学校
- (4) 生成 AI 等の先端技術を適切に活用し、倫理観を持って新たな価値を創造する力を育成する学校

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の高い専門性と望ましい職業感を育成するとともに、課題解決型の学びに取り組み、地域社会に積極的に参画させることで、卒業年次の課題研究に向けて、ねばり強く価値あることの実現に向けてチャレンジしようとする意欲を高める。</li> <li>・教科教育の充実による I T 人財として必要な知識と技術の習得</li> <li>・キャリア教育の充実による I T 人財として生きていく力の伸長</li> <li>・外部機関との連携による最新技術等の知識の習得</li> <li>・身に付けた I T スキルを活かした地域貢献の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な知識や技術を理解し、学んだ技術や知識を適切に活用することができているか。</li> <li>・自分自身の考えを深めたり、表現したりすることができているか。</li> <li>職業の特徴や役割を理解することにより、進路を考えるきっかけを確認することができているか。</li> <li>・担当者や外部講師等のアドバイスを受けながら、探究の方法や内容について議論し、主体的に探究をすすめる態度を身に付けることができているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭での指示のみではなく、指示書等を全員に配付するようにする。</li> <li>・学習進度をその都度確認するようにする。</li> <li>・定期的に学習の状況について問い合わせ、本人の要望などがあれば合理的配慮のもとに対応する。</li> </ul>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（ 課題研究 ）

年次	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年次 ( I T セミナー )	菊の栽培装置(自動灌水装置)の開発を行う。IoT を活用し、センサや水中ポンプを制御する方法やデータサイエンスの基礎を学習する。また、講話を通じて、多くの I T 技術者から普段の仕事の様子や最新技術を聴く。	多くの I T 技術者から、仕事の様子や最新技術の講話を聴き、より身近なものとして捉えられるようにし、望ましい職業観を育む。	課題解決型の学びのプロセスに繰り返しチャレンジする意欲をもった生徒の育成を目指す。
2 年	開講なし		
卒業年次 ( 課題研究 )	個人またはグループで、自ら定めた研究テーマについて探究活動を行う。2 月の学習成果発表会では、口頭発表またはポスターセッションで研究成果について発表する。	2 月の学習成果発表会で、外部の方からアドバイスをもらい、全国情報教育コンテストにエントリーし、評価を受ける。	学んだ技術や知識を適切に活用することができ、主体的に探究をすすめる態度を身に付けた生徒の育成を目指す。